



～校長室通信～ ひがしつ子



第11号
令和8年 1月吉日
国分寺東小学校 坂本順子



新しい年が始まりました。寒い中、白い息を吐きながら登校してくるこどもたち、久しぶりの登校でしたが元気なあいさつができる児童もおり嬉しいスタートとなりました。年度当初と比較しますと、一人ひとりの顔つきが少しお兄さん、お姉さんになっているように思います。本年もよろしくお願ひいたします。

12月の活動から



全校集会～人権週間～ 12月12日(金)

人権擁護委員さんが来校し、人権に関わる講話をいただきました。友達と思いやりについてのお話でした。「本当の友達とは、困っているときにそばにいたり、励ましたりしてくれる人です。また困っている時に助けることが思いやりです。思いやりのある人になってくださいね。」心に響くお話でした。こどもたちは、真剣に返事をしながら聞いていました。人権週間には、人権標語を書きました。給食の時間は、「ビリーブ」の曲を流しました。東小のこどもたちの優しい気持ちがますます育っていくことを願います。人権標語は、教室の廊下、クラス代表児童の標語は、各階廊下の「ハートフルロード」に掲示しています。

6年生キャリア教育～自治医科大学看護師講話～

12/9(火)、自治医科大学の看護師による講話をいただきました。看護師の仕事だけでなく、どんな仕事にも「相手に伝わる言葉」が大切であることなど、ご自分の経験からお話をいただきました。



研究授業～3年生算数～



12/9(火)研究授業を行いました。本校の研究課題を算数に設定し、研修を続けています。多くの先生方が授業を参観していたので、3年2組の児童は少し緊張している様子でしたが、一生懸命授業を聞き、算数の問題を解いていました。

研究授業の後、宇都宮大学教授より、ご指導をいただきました。指導方法は多岐にわたります。今のこどもたちに合った授業をしていくためにも、日々研鑽を積んでいきたいと思います。

6年生校外学習～埋蔵文化センター・風土記の丘資料館見学～

12/11(木)6年生が社会科の学習で、市内にある埋蔵文化センター・摩利支天塚古墳・琵琶塚古墳資料館・風土記の丘資料館を見学しました。実際の古墳を自分の足で歩き、こんな近くに歴史的な古墳があったことを知りました。さらに下野市が古い歴史のある地域だということにも気付きました。



3年生和楽器体験～柴北お囃子会～



12/12(金)柴地区お囃子会の皆様が来校し、3年生にお囃子の演奏を聞かせていただきました。こどもたちは、力強い太鼓や鼓の音に、感激していました。太鼓や鼓などの和楽器を実際に触れさせていただき、「日光和楽踊り」を全員で演奏しました。

2年生生活科～えがおのたまごによるいのちの授業～

12/15(月)「えがおのたまご」による、いのちの授業を2年生保護者にも参観していただき実施しました。劇を通して、赤ちゃんが生まれるときの家族の嬉しい気持ちや、お母さん、赤ちゃんのがんばりを学びました。みんなが愛されて生まれて来たことを教えていただきました。



6年生社会科～小金井空襲についてのお話～



12/18(木)6年生が平和学習を行いました。小金井空襲の際、乗客のお一人で、空襲の史実を伝え続けてくださっている方からお話を聞きました。戦争がこんな身近なところにあったこと、戦争が遠い昔のことではなく、現在も戦争が世界中で続いていることなど、戦争について考える機会となりました。多くの資料も持参していただき、こどもたちのこれから歴史の学習に役立つ内容となりました。12月20日の下野新聞に記事が掲載されました。

5年生総合的な学習

5年生は総合的な学習で、福祉をテーマに学習しています。その中で、国分寺特別支援学校の児童との交流を行っています。12月に2回目の交流を予定していましたが、感染症の流行により、実施できませんでした。そこで、1年生との交流会として実施しました。5年生による国分寺東小クイズ、ボッチャ、などを企画し、1年生はとても楽しい時間を過ごしました。5年生が1年に優しく接する姿に高学年としての成長を感じました。



★お知らせ★

2月中旬から1ヶ月ほどの予定で、体育館の空調設備の工事を予定しています。駐車場の利用などで、ご迷惑をおかけすることになります。卒業式前には終了する予定です。詳細はまた年明けにお知らせいたします。

ハートフルコーナー～校長室の窓から～

冬休み前の集会で、こんな話をしました。

「クローバーは普通三つ葉です。時々四つ葉のクローバーを目にすることがあり、とてもめずらしいので、四つ葉のクローバーはラッキーアイテムとして考えられています。四つ葉のクローバーは、人がたくさん通ったり、踏まれたりしやすい場所にあるのだそうです。クローバーの葉が小さい赤ちゃんの時に踏まれたり、傷付けられたりすると、2つに分かれてしまうことがあります。その傷を治そうとしてたくさんの栄養を出します。そのたくさんの栄養で、踏まれて2つに分かれてしまった赤ちゃんの葉が、それぞれ大きく育ち四つ葉のクローバーになるのだそうです。皆さんが落ち込んだり、元気をなくしたり、悩んだりしていることは、クローバーの赤ちゃんの葉がだれかに踏まれて傷ついたのと同じと考えてみましょう。自分の栄養を使ってそれを乗り越えていくと、そこに新しい幸せが待っているのだと先生は思います。心が疲れているときは、この四つ葉のクローバーの話を思い出して、それを乗り越える勇気をもてるよう、相談したり、自分自身を見つめたりするなど、心を休める時間をつくってくださいね。」

この話をした後、折り紙でクローバーを折って私にプレゼントしてくれた児童がいました。本当に嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

学校生活は、こどもたちにとって楽しい場所であってほしいですが、集団生活の中で気を遣いながら過ごしていることもあります。冬休み明け学校のリズムが整うまで、優しい声かけをお願いできればと思います。

